

めざします 企業の繁栄と社会への貢献

30年のあゆみ

(一社)下館法人会 社団化
青年部会連絡協議会設立



一般社団法人 下館法人会

目 次

社団化30周年 青年部会設立30周年によせて

御挨拶

社団化30周年の軌跡を思い 一般社団法人下館法人会会長 加藤 昌 美…… 2

青年部会30周年を迎え 青年部会連絡協議会会長 金 沢 智 行…… 3

お祝のこトバ

さらなる発展を期待 関東信越国税局課税第二部法人課税課長 野 原 英 明…… 4

社団化30周年に寄せて 下館税務署署長 野 邊 匡 伸…… 5

社団化30周年を祝い 元下館税務署署長 国際経済研究所副理事長 井 戸 清 人…… 6

地域社会に貢献できる
法人会に期待 下館商工会議所会頭(当法人会名誉顧問) 関 正 夫…… 7

祝 辞 社団法人 茨城県法人会連合会会長 鬼 澤 邦 夫…… 8

式典次第

ご来賓名簿…… 10

表彰状感謝状贈呈者名簿…… 12

車椅子寄贈一覧…… 13

記念講演 元 下館税務署署長 国際経済研究所副理事長 井戸 清人先生…… 14

下館法人会・青年部会連絡協議会30年の軌跡

歴代会長、税務署署長、統括官一覧…… 15

30年のあゆみ…… 16

思い出のアルバム…… 28

会員加入状況…… 32

組 織 図…… 33

役員一覧…… 34

県法人会一覧…… 36

一般社団法人 下館法人会 法人会の基本的指針

法人会は

よき経営者と

めざすものの団体として

会員の積極的な

自己啓発と支援し

納税意識の向上と

企業経営者および社会の

健全な発展に貢献します



一般社団法人 下館法人会
会 長
加 藤 昌 美

社 団 化 3 0 周 年 の 軌 跡 を 思 い

下館法人会 社 団 化 30 周 年、青 年 部 会 連 絡 協 議 会 設 立 30 周 年 式 典 を 開 催 する に 当 り ま して、一 言 御 挨 拶 を 申 し 上 げ ま す。

下館法人会 は 昭 和 59 年 3 月 に 社 団 法 人 会 と して 設 立、初 代 会 長 に 木 村 常 吉 氏 が 就 任 さ れ ま し た が、大 変 な 産 み の 苦 し み、ご 苦 労 が あ っ た も の と 思 わ れ ま す。

平 成 元 年 5 月 に 二 代 会 長 と して 関 正 夫 氏 が 就 任 さ れ、会 長 の も と 会 員 一 丸 と な っ て 積 極 的 な 事 業 活 動 を 進 め ま し た。そ の 結 果、平 成 9 年 に は 会 員 数 5, 000 社、加 入 率 86% と な り、関 東 信 越 国 税 局 管 内 63 署 中 第 1 位 と 輝 か し い 組 織 率 を 達 成 し 大 き な 組 織 率 を 上 げ る こ と が 出 来 ま し た。

そ の 後、平 成 19 年 5 月 に 中 山 徹 雄 氏 が 三 代 会 長 と して 就 任 さ れ、3 期 6 年 間 に 亘 り 会 の 健 全 な 発 展 の た め に 御 尽 力 い た だ き ま し た。そ して 平 成 25 年 度 か ら 私、加 藤 が 第 四 代 会 長 と して 現 在 に 至 っ て お り ま す。

下館 税 務 署 管 内 の 当 法 人 会 は、筑 西、結 城、下 妻、桜 川、常 総、八 千 代 の 5 市 1 町 の 中 で、下 館 地 区 会 を は じ め 9 地 区 会 で 組 織 さ れ 県 法 連、各 県 内 単 位 会 と 連 携 を 図 り、各 種 事 業 を 展 開 し て 参 り ま し た。時 代 を 反 映 し て 会 員 数 は 地 域 経 済 や 諸 要 因 に よ り 年 々 減 少 を 余 儀 な く し て お り ま す が、お 陰 さ ま で 現 在 も 県 内 で は ト ッ プ の 加 入 率 を 誇 っ て お り ま す。

こ れ も 偏 に、こ れ ま で 御 指 導 い た だ き ま し た 歴 代 署 長 は じ め と して 職 員 の 皆 様 方、歴 代 役 職 員、そ して 多 く の 会 員 の 皆 様 方 の 地 域 企 業、地 域 社 会 に 対 す る 熱 き 思 い に よ る も の と 心 よ り 厚 く 御 礼 申 し 上 げ ま す。

又、今 回 青 年 部 会 連 絡 協 議 会 設 立 30 周 年 も 同 時 共 催 と して 開 催 す る こ と に な り ま し た。青 年 部 会 の 前 身 で あ る 二 世 会 が 昭 和 54 年 1 月 に 発 足 し、当 時 の 署 長 で あ る 井 戸 清 人 様 の 熱 意 と 強 力 な ご 支 援 に よ り 設 立 さ れ た も の で、そ の 後、親 会 の 社 団 化 と 同 時 に 現 在 の 名 称 で 事 業 を 展 開 し 現 在 に 至 っ て お り ま す。

今 般、30 周 年 記 念 式 典 を 開 催 す る に 当 たり 講 演 会 の 講 師 と して 井 戸 清 人 様 を お 迎 え す る こ と が で き ま す 事、当 時 を 振 り 返 り ま す と、万 感、胸 が 熱 く な る 思 い で ご ざ い ま す。

と ころ で、最 近 の 経 済 は、ア ベ ノ ミ ク ス 効 果 に よ り、株 高、円 安 が 進 み、景 気 も 一 定 の 好 環 境 条 件 で 進 ん で い る よ う に 思 わ れ ま す が、過 度 な 円 安 は、輸 入 物 価 の 上 昇 か ら 原 材 料、資 材 の 高 騰 を 招 き、中 小 企 業 に は 不 安 を 感 じ る 状 況 に も な っ て お り ま す。又、本 年 4 月 か ら の 消 費 税 5% か ら 8% の 引 上 げ、来 年 秋 の 10% 引 上 げ が 検 討 さ れ て お り 消 費 動 向 が 大 変 気 に な る と ころ で ご ざ い ま す。

来 年 1 月 か ら の 相 続 税 の 基 礎 控 除 額 の 変 更 等 を 含 め 税 制 改 正 が 行 わ れ る 見 通 し で あ り、中 小 企 業 へ の 配 慮 を お 願 い し た い 所 で す。

当 下 館 法 人 会 と い た し ま し て も、こ の 30 周 年 を 機 に 更 に 会 員 の 皆 様 と 協 力 し、地 域 経 済 の 牽 引 と な り、健 全 な る 納 税 者 の 団 体 と して 地 域 企 業、社 会 に 貢 献 し て 行 き た い と 存 じ ま す。

今 後 と も、当 局 を は じ め、関 係 各 位 の 皆 様 に お か れ ま して は、何 卒 ご 理 解 と な お 一 層 の ご 指 導、御 支 援 を 賜 り ま す 様 お 願 い し 申 し 上 げ ま して ご 挨 拶 と 致 し ま す。



下館法人会
青年部会連絡協議会
会長

金沢 智行

下館法人会社団化30周年、 青年部会連絡協議会設立30周年を迎え

本日、本会である一般社団法人下館法人会社団化30周年と青年部会設立30周年が共催で開催するに当り、青年部会長といたしまして、一言、皆様に感謝と御礼を申し上げます。

現在の青年部会連絡協議会は、昭和54年青年部会の前身である二世会が発足、その初代会長に現本会の会長であります加藤昌美氏が就任されました。

そして、その発足には本日の講演会の講師でお招き致しました当時、下館税務署長でありました井戸清人様のご指導によるものであったと現在もその功績を伝え及んでおります。

昭和59年に本会が社団法人となり、下館法人会二世会を青年部会連絡協議会に改称設立致しました。その初代青年部会長に小島康夫氏が就任、以来これまで歴代青年部会長はじめ現在の5単位地区会青年部会員の皆様方、そして下館税務署はじめ関係機関の皆様のご支援と御指導により本会30周年と一緒に設立30周年を迎えられたものと青年部会を代表して衷心より御礼を申し上げます。

当法人会の基本方針である納税意識の向上と企業経営及び社会の健全な発展に貢献するという経営者の団体の中で、青年部会は事業後継者として、自己研鑽と共に会員相互の交流と親睦を図り切磋琢磨しつつ、地域企業や地域社会に貢献するべく事業活動を展開して参りました。

その活動は下館税務署管内の5市1町のみならず、県内、全国に渡る法人会組織の活動のなかで、会員同士の大きな人的財産にもなっております。

これまで30年の歴史を刻んで参りましたが、社団化した当時のバブル景気からその後の崩壊、長い経済低迷期の中で、少子高齢化が表面化、又、3年8カ月前に起きた東日本大震災の衝撃と復興から、今アベノミクス効果による円安、株高等やや光が当たる面も出て参りました。

税務面では本年4月から消費税8%となり、法人税の実効税率もグローバル経済の中で必要だとして数年かけて引き下げが検討されています。

そんな中、私達はこの30周年を節目ととらえ、本会と共に、地域企業と地域社会のさらなる発展を目指し連携を深め活動してゆく所存です。

本日の30周年記念事業の開催に際し、改めまして、歴代の先輩諸兄、そして関係機関の皆様に敬意を表すると共に、なお一層の御指導御鞭撻を賜ります様お願い申し上げます、御礼の挨拶とさせていただきます。

さらなる発展を期待



関東信越国税局
課税第二部
法人課税課長

野原 英明

一般社団法人下館法人会の社団化30周年及び青年部会設立30周年に当たり、一言お祝いを申し上げます。

貴会におかれましては、昭和30年5月に連絡協議会として発足し、昭和59年3月に社団法人下館法人会を設立され、昨年4月に新公益法人制度の下、一般社団法人への移行手続きを経て、ここに30周年を迎えられました。また、青年部会も同様に30周年を迎えられており、まさしく歴史と伝統のある組織であります。

この間、様々な法人会活動を通じて、正しい税知識の普及と納税道義の高揚に多大な貢献をされました。特に地域社会の健全な発展のための地域貢献活動につきましては青年部会・女性部会を中心に活発に展開され、組織の拡大と充実に努めてこられました。その結果、会員加入率では茨城県内一位、3,500社余りの会員企業を擁する立派な組織に発展されました。

これは、加藤会長をはじめ、歴代会長、役員並びに会員皆様の法人会活動に対する真摯なご努力の賜物であり、心から敬意を表する次第であります。

さて、税務行政を取り巻く環境は、社会経済のグローバル化・ICT化の中で大きく変化しており、国税通則法の改正、消費税法の改正、番号制度の導入といった制度改正等が行われており、大きな変革期にあります。

こうした状況の中、様々な課題に対応していくためには、私どもの力のみでは自ずと限りがあり、地域のオピニオン・リーダーである皆様方に税務行政の良き理解者として、ご尽力いただけることは、私どもにとりまして誠に心強い限りでございます。

今後も、税務行政に対しまして、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たりまして、一般社団法人下館法人会並びに会員企業の益々のご発展、ご繁栄を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



下館税務署長

野 邊 匡 伸

社団化30周年に寄せて

一般社団法人下館法人会の社団化30周年及び青年部会の設立30周年に際しまして、心からお祝い申し上げます。

下館法人会の皆様方には、税務行政全般にわたり、日頃から法人会活動を通じて、深いご理解と多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴法人会におかれましては、昭和59年3月に社団化されて以来、30年の永きにわたり、正しい税知識の普及と納税道義の高揚を図るため、各種説明会や研修会、広報活動等幅広い活動を活発に展開されてこられました。また、献血活動やチャリティー事業を開催されるなど、地域企業や地域社会の健全な発展にも大きく貢献されておられます。加藤会長をはじめ歴代の会長、役員並びに会員の皆様方のご尽力に、心から敬意と感謝を表する次第であります。

また、新たな公益法人制度の下、一般社団法人としての事業活動が公益性を高めた一層充実したものとなりますとともに、より活力のある組織が築かれますことを期待申し上げます。私どもといたしましても、これまで以上に法人会の皆様方と連携・協調を図りながら、できる限りの協力をしてまいり所存であります。

私どもは、国民の皆様ご理解と信頼の下、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」ことを使命としております。税務行政に課せられた使命・責任を果たしていくためには、私どもの力のみでは自ずと限界がございます。貴法人会の皆様方が、税務行政の良き理解者としてご尽力いただいておりますことは、誠に心強い限りであり、日頃のご協力に対しまして、改めて厚くお礼申し上げます。今後ともなお一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに当たりまして、一般社団法人下館法人会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝とご繁栄を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



国際経済研究所
副理事長

井戸 清人

下館法人会社団化30周年を お祝いします

下館法人会が社団化され30周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

私は1978年7月から1年間、下館税務署長として法人会の皆様と御一緒に仕事をさせて頂きました。当時私は27歳で、下館税務署初めての若い署長として、当地に参りました。東京で育った私には最初で最後の地方での生活であり、また下館時代に結婚したこともあって、今でも大変懐かしく思っております。

当時、下館税務署の管内は4市6町2村でした。東北新幹線も常磐高速も後年のことで、管内は独自の生活・文化圏を構成しており、私も筑波山のふもと、「奥の細道」など中世からの歴史がある当地での生活を楽しませて頂きました。

産業としては、有名な紬などの伝統産業に加え、製造業大企業の工場も進出していましたが、お米や梨など近郊作物を中心に農業が盛んであり、良いお米ときれいな水から日本酒の蔵元も多数ありました。一方、下館市や結城市は東京から地理的に近いのに、十分にそのメリットを活用できていないなど、将来への課題も出てきておりました。

私も若い税務署長として、当地の若い経営者の方と地域の経済を将来どのようにしたら良いのか、何度も議論をさせて頂いたものです。こうした議論を続ける中で、1979年には下館法人会に二世会が創られ、現在法人会会長の要職を務められる加藤昌美氏が初代会長に就任されました。その後、このように大きく発展されていることは、慶賀に堪えません。

日本経済は安倍首相の「アベノミクス」により景気も回復し、株価も高くなっておりますが、地方には十分にその効果がでておりません。今年の6月に「日本再生戦略」が改訂されましたが、これはローカル・アベノミクスにより地方経済と中小企業を元気にすることが目標です。こうした機会を活用されて、下館法人会の皆様が益々ご活躍されることを心より願っております。

地域社会に貢献できる 法人会に期待



下館商工会議所
会頭

関 正 夫
(下館法人会 名誉顧問)

一般社団法人下館法人会は、昭和59年に社団化以来、この度30周年を迎える事が出来ました。また、青年部会も同時期に発足し、30周年を迎えることになり重ねてお祝いを申し上げます。

この間、当会は会員の皆様のご理解並びにご協力に加えて税務当局のご指導ご支援のもと「健全な納税者団体」並びに「よき経営者を目指すものの団体」として、納税思想の高揚と申告納税制度の普及そして会員企業及び地域社会の健全な発展に寄与すべく、活発な事業活動を展開して参りました。特に、会員組織率は関東甲信越国税局管内において過去に1位の実績を誇り、現在においても上位の組織率を維持しております。これも偏に、会員の皆様のご努力と歴代の役職員の熱意の賜物と衷心より感謝申し上げます。

この30年の歩みを振り返りますと、内外ともに筆舌に尽くしがたい、大きな激動の時代であり、これからも大変化の時代が続いていくと思われれます。

特に、国内においては、少子高齢化の進展が地方経済の衰退に繋がりがかねないことを懸念しております。また、未曾有の大災害でありました東日本大震災は、原子力事故を引き起こし、未だ根本的な解決策を見いだせず、日本経済全体の先行きを不透明なものへと一変させました。このような状況で政府も経済優先の政策を推し進めており、地方と中小企業に明るい未来が開けることを願ってやみません。

当会は、30周年を契機に地域社会に貢献できる法人会として、これからも組織強化のための「会員増強」、会員皆様に役立つ「研修事業」の充実、更には「献血活動」に代表される「社会貢献事業」の推進に、新たな決意をもって事業活動を進めていくことをご期待申し上げます。

結びに、下館法人会ならびに青年部会の益々のご発展と会員の皆様のご活躍とご健勝を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



一般社団法人
茨城県法人会連合会
会 長

鬼澤 邦夫

祝 辞

このたび、一般社団法人下館法人会が社団化30周年、並びに青年部会連絡協議会が設立30周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

貴法人会は昭和59年3月に社団法人として認可されましたが、その源をたどれば昭和30年の法人会連絡協議会に遡り、社団化された後は初代の木村常吉会長、二代目の関正夫会長、三代目の中山徹雄会長、そして現在の加藤昌美会長が大きなリーダーシップを発揮され、組織基盤の充実と積極的な事業活動の展開に取り組まれました。その結果、貴法人会の会員加入率は今日に至るまで、茨城県内8法人会の中で第一位を維持しております。会員の維持増強は法人会発展の根幹を成すものであり、近年の会員数減少傾向の中で、高い加入率を維持していることは県内法人会の模範であり、心から敬意を表する次第です。

青年部会連絡協議会は、下館法人会の社団化と同年の8月に改称されましたが、その基礎は昭和54年の下館法人会二世会の結成が始まりと伺っております。貴部会の会員数は県内で最大数を維持しており、誠に力強い限りであります。なお、来年11月には全国青年の集いが茨城県で開催され、貴部会が租税教育活動プレゼンテーションを行うこととなっております。大いに期待しております。

さて、近年の法人会は会員の減少、財政状況の悪化等、極めて厳しい状況に置かれておりますが、公益法人制度改革による新制度の下、会員数の回復、税に関する公益的活動を中心とした事業の拡充、ガバナンスの確保、効果的・効率的な機関運営に対処していかなければなりません。下館法人会におかれましても、一層の飛躍と地域の更なる発展のためご尽力賜りますよう、ご期待申し上げます。

結びに、一般社団法人下館法人会と青年部会連絡協議会の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝並びに企業のご繁栄を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

社団化30周年、青年部会連絡協議会 記念式典次第

開催日時 平成26年11月7日(金) 午後3時～7時
開催場所 ダイヤモンドホール(筑西市)

第一部 記念式典 午後3時～4時

1. 開会のことば
2. 国家斉唱
3. 会長あいさつ
4. 青年部会連絡協議会会長あいさつ
5. 実行委員長あいさつ
6. 来賓紹介
7. 表彰 1) (一社)茨城県法人会連合会会長表彰
2) 下館法人会会長及び青年部会連絡協議会会長表彰、感謝状
8. 5市1町へ車椅子贈呈(30周年記念事業)
9. 社団化30周年、青年部会設立30周年の歩み報告
10. 来賓祝辞・祝電披露
11. 閉会のことば

第二部 記念講演会 午後4時10分～5時30分

1. 講師紹介
演題 「世界経済と国際金融」
講師 元下館税務署長、現在、(株)国際経済研究所副理事長 井戸清人先生

第三部 祝賀パーティー 午後5時40分～7時

1. 開 会
2. 乾杯あいさつ
3. アトラクション紹介 郡 伸璋&his friends(ジャズコンサート)
4. 歓 談
5. 閉 会

来賓芳名簿

官公庁関係

関東信越国税局課税第二部法人課税課	課長	野原英明殿
同	審査企画係長	阿部辰範殿
下館税務署	署長	野邊匡伸殿
同	副署長	高田哲朗殿
同	統括官	沼田仁志殿
同	上席調査官	松島育江殿
筑西県税事務所	所長	晝田照夫殿
筑西市	市長	須藤茂殿
結城市	市長	前場文夫殿
下妻市	市長	稲葉本治殿
常総市	市長	高杉徹殿
桜川市	市長	大塚秀喜殿
八千代町	町長	大久保司殿

下館税務署関係

元下館税務署長	武藤健造殿
同	人見洋殿
同	武藤賢一殿

友誼団体関係

関東信越税理士会下館支部	支部長	齋藤暁殿
真結納税貯蓄組合連合会	会長	五月女安彦殿
下館税務署管内青色申告会連合会	会長	山中保殿
下館間税会	会長	広瀬陽一殿
下館商工会議所	会頭	関正夫殿
結城商工会議所	会頭	中山徹雄殿
筑西市商工会	会長	大畑良雄殿
下妻市商工会	会長	外山崇行殿
常総市商工会	会長	北村仁殿
桜川市商工会	会長	川嶋利弘殿
八千代町商工会	会長	秋葉一殿

厚生事業取扱会社

大同生命保険(株)水戸支社	支社長	山口 准 晃 殿
同	下館営業所 所長	松井 孝 昭 殿
AIU損害保険(株)つくば支店	支店長	三田村 崇 殿
アフラック水戸支社	支社長	鵜飼 浩 殿

法人会関係

(一社)茨城県法人会連合会	会 長	鬼 澤 邦 夫 殿
(公社)水戸法人会	会 長	鬼 澤 邦 夫 殿
同	専務理事	秦 雅 博 殿
(公社)日立法人会	会 長	宮 本 洋 治 殿
(公社)土浦法人会	会 長	宇多川 仁一郎 殿
(一社)太田法人会	会 長	伊 村 智 安 殿
(公社)古河法人会	会 長	弓 削 重 次 殿
(一社)竜ヶ崎法人会	会 長	細 谷 典 幸 殿
(一社)鹿行法人会	会 長	石 津 健 光 殿
(一社)茨城県法人会連合会青年部会連絡協議会	会 長	川 口 拓 麻 殿
(公社)水戸法人会青年部会	会 長	川 口 拓 麻 殿
(公社)日立法人会青年部会	会 長	山 本 仁 殿
(公社)土浦法人会青年部会	会 長	粟 野 哲 雄 殿
(一社)太田法人会青年部会	会 長	根 本 敬 久 殿
(公社)古河法人会青年部会	会 長	鈴 木 敏 雄 殿
(一社)竜ヶ崎法人会青年部会	会 長	佐 藤 渡 殿
(一社)鹿行法人会青年部会	会 長	佐 藤 達 巳 殿

名誉顧問

関彰商事(株)	関 正 夫 殿
(株)中山	中 山 徹 雄 殿

顧 問

(有)堀川酒造店	堀 川 純 一 殿
----------	-----------

歴代事務局長

三代事務局長	萩 原 正 範 殿
四代事務局長	小 池 文 雄 殿

記念講演会 講師

元下館税務署長	井 戸 清 人 殿
---------	-----------

表彰状感謝状贈呈者名簿

1. (一社)茨城県法人会連合会会長表彰状
高加入維持 (一社)下館法人会 殿

2. (一社)下館法人会会長表彰状
法人会功労者
(一社)下館法人会 名誉顧問
同 同
関 正 夫 殿
中 山 徹 雄 殿

高加入率維持
(一社)下館法人会 八千代地区会 殿

3. (一社)下館法人会会長感謝状
協力団体
下館商工会議所 殿
結城商工会議所 殿
筑西市商工会 殿
下妻市商工会 殿
常総市商工会 殿
桜川市商工会 殿
八千代町商工会 殿

共済制度推進協力
大同生命保険(株)下館営業所 殿
A I U損害保険(株)つくば支店 殿
アフラック水戸支社 殿

4. (一社)下館法人会青年部会連絡協議会会長感謝状
青年部会連絡協議会功労者
(一社)下館法人会青年部会連絡協議会
元青年部会長 木 城 弘 明 殿
同 大 島 博 殿
同 渡 辺 利 夫 殿
同 飯 島 正 彦 殿
同 安 達 尚 志 殿

車椅子寄贈一覧(社会貢献活動)

筑西市	市長	須藤	茂殿
結城市	市長	前場文夫	殿
下妻市	市長	稲葉本	治殿
常総市	市長	高杉	徹殿
桜川市	市長	大塚秀喜	殿
八千代町	町長	大久保	司殿



演題 「世界経済と国際金融」

講師 井戸 清人 先生

経歴

1950年10月30日生まれ。東京都出身。

東京工業大学理学部数学科卒業。ドイツのザールランド大学留学。

1973年大蔵省(現財務省)入省。国際金融局を中心に勤務し、副財務官、国際局審議官、国際局次長を経て、2004年国際局長就任。

この間、在フランクフルト日本総領事館領事、米州開発銀行財務局次長、在米国日本大使館公使として、海外にも勤務。

1980年代は、東京オフショア市場創設や円の国際化など我が国金融市場の国際化に努力。1990年代には、アジア諸国の経済開発など開発金融の分野に従事。1997年から1998年のアジア通貨危機においては、300億ドルの資金支援やアジア地域金融協力構想に向けて東アジア諸国と協力した。

2006年日本銀行理事に就任し、調査統計局、発券局、情報システム局、情報サービス局を担当。2010年任期満了により退任。

2011年4月、トヨタ自動車のシンクタンクである国際経済研究所の副理事長に就任し、現在に至る。

歴代会長、税務署長、統括官

年 度	法人会長	青年部会長	税務署長	統括官
昭和53年度			井戸清人	飯田政一
54年度			西江章	丸山毅
55年度			山田和男	丸山毅
56年度			山田和男	萩原正範
57年度			亀田眞一郎	萩原正範
58年度			川端昭二	萩原正範
59年度	木村常吉	小島康夫	杉江潤	長郷健三
60年度	木村常吉	鈴木勝家	野村朝啓	影山一雄
61年度	木村常吉	鈴木勝家	稲見進久	影山一雄
62年度	木村常吉	関口幹雄	百嶋計	村岡昭博
63年度	木村常吉	関口幹雄	小山榮	勝建夫
平成元年度	関正夫	永盛武	栃谷欣彦	竹田繁
2年度	関正夫	永盛武	佐藤脩一	竹田繁
3年度	関正夫	駒形泰男	佐藤脩一	板倉安秀
4年度	関正夫	駒形泰男	古澤知之	長谷川憲
5年度	関正夫	広瀬陽一	水口純	長谷川憲
6年度	関正夫	広瀬陽一	福田征次	森住彰治
7年度	関正夫	岩崎晴男	北原弘治	森住彰治
8年度	関正夫	岩崎晴男	館野春雄	星野進
9年度	関正夫	中野克哉	館野春雄	星野進
10年度	関正夫	中野克哉	石川勉	小池和夫
11年度	関正夫	大島清司	加藤護夫	小池和夫
12年度	関正夫	大島清司	加藤護夫	吉野滋
13年度	関正夫	永盛友治	志賀忠夫	黒沢修一
14年度	関正夫	永盛友治	豊岡清朗	黒沢修一
15年度	関正夫	木城弘明	瀬賀弥平	宮内喜久男
16年度	関正夫	木城弘明	吉野維一郎	宮内喜久男
17年度	関正夫	大島博	田村清	田村辰男
18年度	関正夫	大島博	武藤健造	田村辰男
19年度	中山徹雄	渡辺利夫	高野俊信	松浦司郎
20年度	中山徹雄	渡辺利夫	桑原和明	柳田実
21年度	中山徹雄	飯島正彦	島村貴利	佐藤秀夫
22年度	中山徹雄	飯島正彦	後藤治郎	吉川正
23年度	中山徹雄	安達尚志	人見洋	吉川正
24年度	中山徹雄	安達尚志	人見洋	芦高勘二
25年度	加藤昌美	金沢智行	武藤賢一	芦高勘二
26年度	加藤昌美	金沢智行	野邊匡伸	沼田仁志

社団化30年、青年部会連絡協議会設立30年、税制変遷30年の歩み

西暦・元号	主な事業・記録	
	本会	青年部連絡協議会
1984 昭和59年	3月 (社) 下館法人会設立 初代会長 木村常吉氏 結城、下館、真壁、下妻、石下、水海道、 関城、協和、八千代、千代川 社団化記念式典を開催 記念講演会 演題 「経営者の健康管理」 講師 筑波大学教授 柴田治郎先生	青年部会連絡協議会 発足
1985 昭和60年	総会記念講演会 ソフトボール大会(下館市) 演題 「現代の社会を考える」 講師 百目鬼恭三郎先生	「税を知る週間」 署長を囲んでの懇談会
1986 昭和61年	先進地(宇都宮法人会)訪問 組織拡大等について学ぶ 総会記念講演会 演題 「円高がもたらす地域中小企業への影響」 講師 藤田勝也先生 会報「法人しもだて」創刊号の発行	ソフトボール大会(真壁町) 「税を知る週間」 懇談会(真壁町)
1987 昭和62年	明野地区会設立(下館より分離独立) 先進地(前橋法人会)訪問 組織拡大等について学ぶ 総会記念講演会 講師 百嶋 計氏 演題 「八つの心」 講師 松原哲明先生	水海道地区に青年部設立 「税を知る週間」講演会 演題 「税務諸問題」
1988 昭和63年	大和地区会設立(真壁より分離独立) 消費税導入に伴う研修会を各地で実施 経営者研修会 演題 「事業はハングリーなやつが勝つ」 講師 箱田忠昭氏 総会記念講演会 演題 「県西地方の今後の展望」 講師 茨城大学教授 帯刀 治先生 先進地(成田法人会)訪問	ソフトボール大会(結城市) 「税を知る週間」 懇談会
1989 昭和64年 平成元年	消費税導入 (3%) 第二代会長 関 正夫氏就任 総会記念講演会 演題 「県内経済の展望」 講師 常陽産業開発センター 宗田義弘氏 先進地(上田法人会)訪問	親善ソフトボール大会(水海道市) 税務署幹部との懇談会(下妻市)
1990 平成2年	総会記念講演会 演題 「県西地域発展の方向をさぐる」 講師 茨城県企画部 小瀬信一氏 特別研修会 親善ボウリング大会 「第三次商法改正のポイント」 講師 弁護士、公認会計士 並木俊守先生	合同セミナー講演会 演題 「経営の道」 講師 (株)カスミ代表取締役 神林照雄氏 税務署幹部との懇談会(下妻市)

世界と日本の出来事	主な税制等の変遷	会 長、事務局長
ロス五輪開催 新札切り替え	法人税額に係る延納制度の廃止	会 長 木村 常吉 青連協会長 小島 康夫 事務局長 清水 省二
科学万博 つくば開幕 日航機 御巣鷹山事故	たばこ消費税法施行	会 長 木村 常吉 青連協会長 鈴木 勝家 事務局長 奈良部 進
東北自動車道 全面開通 チェルノブイリ原発事故 スペースシャトル爆発事故	住宅取得促進税制の創設 移転価格税制の施行	会 長 木村 常吉 青連協会長 鈴木 勝家 事務局長 奈良部 進
東証株価 2万円台突入 (バブルの始まり) 第一次天安門事件 ブラック・マンデー (NY市場下部大暴落) 大韓航空機爆破事件	配偶者特別控除制度の創設	会 長 木村 常吉 青連協会長 関口 幹雄 事務局長 奈良部 進
青函トンネル、瀬戸大橋開通 東証株価 3万円超 (バブル景気)	給与所得者の特定支出控除の特例の創設	会 長 木村 常吉 青連協会長 関口 幹雄 事務局長 奈良部 進 萩原 正範
昭和天皇崩御、皇太子即位 東証株価 3万8000円超 消費税 (3%) 実施 第二次天安門事件 ベルリンの壁崩壊 冷戦の終結	” 消費税の実施 砂糖消費税法、物品税法、トランプ類税法、 入場税法、通行税法の廃止 ”	会 長 関 正夫 青連協会長 永盛 武 事務局長 萩原 正範
東西ドイツの統一 天皇即位の礼		会 長 関 正夫 青連協会長 永盛 武 事務局長 萩原 正範

西暦・元号	主 な 事 業 ・ 記 録	
	本 会	青 年 部 連 絡 協 議 会
1991 平成3年	総会記念講演会 演題「美しく老いる」 講師 (医)恒貴会 久野恒一先生 先進地(東毛法人会)訪問	親善ボウリング大会(つくば市) 税務署幹部との懇談会(真壁町) ソ連邦崩壊
1992 平成4年	特別研修会 「人材確保大作戦」 講師 法政大学教授 川喜多 喬先生 松本法人会に税制改正要望等研修 組織拡大等について学ぶ 事業委員会が研修委員会に名称変更 総会記念講演会 演題「最近の労働事情と労働基準行政の方向」 講師 下館労働基準監督署長 宮地政教先生 先進地(郡山法人会)訪問	合同セミナー講演会 演題 「ホテルのサービスとは」 講師 ホテルオークラシステム 石原 直氏 親善ボウリング大会(下館市) 税務署幹部との懇談会(下館市)
1993 平成5年	特別研修会 「地域活性化とマーケティング」 講師 上智大学教授 田中利見先生 総会記念講演会 演題「県南西地域の現状と今後の発展方向」 講師 茨城県企画部長 中島正弘氏	合同セミナー講演会 演題 「国際化の中の日本の政治と経済状況」 大和地区会に青年部設立 税務署幹部との懇談会 署長講話 「一留学生から見た日本文化比較」
1994 平成6年	社団化10周年記念式典を開催 特別研修会 「'94国際情勢と日本経済」 講師 日本大学教授 新堀俊明先生 総会記念講演会 演題「政界再編と日本政治のゆくえ」 講師 常盤大学教授 岩井奉信先生 本会事務所移転 下館市乙924 光伸ビル3階	合同セミナー 「知事を囲んでの懇談会」 税務署長との懇談会(下館市) 親善ゴルフ大会(内原)
1995 平成7年	総会記念講演会 演題「県西の歴史と文化」 講師 桐原光明先生 広報委員会が設置される 視察研修 山形県天童市	下妻地区会に青年部設立 税務署長との懇談会(下妻市)
1996 平成8年	社会貢献事業の実施 市町村社会福祉協議会へ寄贈 (車椅子10、スロープ1、テレビ1) 総会記念講演会 演題「最近の金融経済環境とベンチャービジネス」 講師 (株)常陽産業研究所 齊藤敬徳氏	合同セミナー講演会 演題 「最近の経済環境雑感」 講師 関彰商事(株) 関 正夫氏 講演会 演題「中小企業のひとつの生き方」 講師 リスカ(株) 武藤則夫氏 親善ゴルフ大会(協和町)
1997 平成9年	総会記念講演会 演題「食養学事始」 講師 農林水産省食品総合研究所 鈴木建夫先生 先進地(松本法人会)訪問 社会貢献事業の実施 車椅子12 寄贈	合同セミナー講演会 演題 「もうかる企業の必要条件」 講師 (株)鯨井会計 鯨井基司氏 講演会 演題 「企業経営と相続税」 講師 下館税務署副署長 藤田昌宏氏 親善ゴルフ大会(下妻市)

世界と日本の出来事	主な税制等の変遷	会 長、事務局長
湾岸戦争勃発 東証株価急落1万5千円割れ ソ連邦崩壊		会 長 関 正夫 青連協会長 駒形 泰男 事務局長 萩原 正範
日本新党発足（党首・細川護熙） 清酒の級別制度廃止” 佐川急便事件（金丸副総裁辞職9 クリントン氏米大統領に	” 青色申告特別控除制度の創設	会 長 関 正夫 青連協会長 駒形 泰男 事務局長 萩原 正範
EC 統合市場発足 皇太子殿下ご成婚 サッカー・W 杯予選敗退（ドーハの悲劇） 細川護熙内閣発足。自民党野党に		会 長 関 正夫 青連協会長 広瀬 陽一 事務局長 萩原 正範
細川首相辞任、羽田内閣発足 マンデラ氏南ア大統領に 松本サリン事件 村山内閣発足 関西国際空港開港	地ビールの製造解禁	会 長 関 正夫 青連協会長 広瀬 陽一 事務局長 萩原 正範
WHO（世界貿易機構）発足 阪神淡路大震災 地下鉄サリン事件 オウム真理教・麻原彰晃逮捕		会 長 関 正夫 青連協会長 岩崎 晴男 事務局長 萩原 正範
村山首相退陣、自民・橋本内閣発足 民主党結成 ペルー日本大使公邸人質事件		会 長 関 正夫 青連協会長 岩崎 晴男 事務局長 萩原 正範
消費税5パーセントに 2005年愛知万博開催決定 香港、中国に返還 サッカーW杯出場決定	消費税率5%に引上げ	会 長 関 正夫 青連協会長 中野 克哉 事務局長 萩原 正範

西暦・元号	主 な 事 業 ・ 記 録	
	本 会	青 年 部 連 絡 協 議 会
1998 平成10年	女性部会が設立 総会記念講演会 演題「最後の将軍『徳川慶喜』」 講師 茨城県立歴史館史料部 木下英明先生	千代川地区会に青年部設立 八千代地区会に青年部設立 合同セミナー講演会 演題 「県西地域におけるまちづくり」 講師 (株)常陽産業研究所 久保田時治氏 講演会 演題 「お金と税金に関する歴史雑学」 講師 下館税務署副署長 勝 建夫氏
1999 平成11年	総会記念講演会 演題 「労働基準行政をとりまく課題と対策について」 講師 下館労働基準監督署長 上山友春先生 視察研修 新潟県長岡市	15周年記念式典 講演会 演題「大不況時代の危機管理」 講師 推理作家・弁護士 中嶋博行氏
2000 平成12年	総会記念講演会 演題 「どうなるこれからの政治と経済」 講師 政治評論家 岡村和夫先生 視察研修 群馬県草津市	合同セミナー講演会 演題 「県西の自立型街づくりにむけて」 講師 (株)常陽産業研究所 久保田時治氏 講演会 演題 「21世紀にふさわしい青年部活動の方向性を探る」 講師 森住税理士事務所長 森住 彰治氏
2001 平成13年	講演会 演題「税務行政の課題」 講師 関東信越国税局長 西江 章氏 総会記念講演会 演題 「どうなる日本のIT」 講師 常盤大学大学院教授 後藤和彦先生	講演会 演題 「税金あれこれ」 講師 下館税務署長 志賀忠夫氏
2002 平成14年	総会記念講演会 演題 「改革を迫られる日本経済と 自社の明日を拓く経営戦略」 講師 グリーンヒルズクリエイティブ 吉中 靖氏 視察研修 会津若松	講演会 演題 「税の歴史と現状」 講師 下館税務署長 豊岡清朗氏
2003 平成15年	総会記念講演会 演題 「眠れる遺伝子を目覚めさせる」 講師 筑波大学名誉教授 村上和雄先生	合同セミナー講演会 演題 「私の信念・私の経営理念」 講師 ばんどう太郎グループ 青谷洋治氏 講演会 演題 「税務行政の現状について」 講師 下館税務署長 瀬賀弥平氏
2004 平成16年	総会記念講演会 演題 「先端医療とセカンドオピニオン」 年金セミナー	合同セミナー講演会 演題 「信用保障協会のしくみ」 講師 信用保証協会担当者 20周年記念式典 演題 「政界展望と地方経済の明日」 講師 白鷗大学教授 福岡政行氏

世界と日本の出来事	主な税制等の変遷	会長、事務局長
冬季五輪長野大会開幕 金融ビッグバン始まる サッカーW杯フランス大会	国税庁ホームページ開設	会長 関 正夫 青連協会長 中野 克哉 事務局長 萩原 正範
情報公開法成立 東海村核燃料工場臨界事故発生 コンピュータ2000年問題	所得税の最高税率及び法人税の税率引下げ、 20%の定率減税等の恒久的減税実施	会長 関 正夫 青連協会長 大島 清司 事務局長 萩原 正範
九州沖縄サミット シドニー五輪開幕・マラソン高橋尚子金メダル 三宅島再噴火、全島避難	青色申告特別控除額を55万円に改定	会長 関 正夫 青連協会長 大島 清司 事務局長 萩原 正範
小泉内閣発足 9.11米国同時多発テロ 失業率 初の5.3%	酒類販売免許の距離基準廃止	会長 関 正夫 青連協会長 永盛 友治 事務局長 萩原 正範
公立学校、完全週5日制実施 日韓W杯開幕、日本決勝トーナメント 小泉首相訪朝、拉致被害者判明 ノーベル賞ダブル受賞	所得税確定申告書の大幅改定 (平成13年分以降)	会長 関 正夫 青連協会長 永盛 友治 事務局長 萩原 正範
米英、イラク軍事攻撃 六本木ヒルズ開業 有事関連3法、イラク復興支援法成立	国税庁ホームページに 「確定申告書等作成コーナー」を新設 連結納税制度の導入	会長 関 正夫 青連協会長 木城 弘明 事務局長 萩原 正範
法科大学院開設 九州新幹線部分開業 裁判員制度法、年金法成立 新潟県中越地震	配偶者特別控除(上乘せ部分)の廃止 消費税の総額表示義務規定の創設 e-Taxの運用を全国に拡大	会長 関 正夫 青連協会長 木城 弘明 事務局長 萩原 正範

西暦・元号	主な事業・記録	
	本会	青年部連絡協議会
2005 平成17年	岩瀬地区会が水戸法人会からの所属変更 総会記念講演会 1. 演題 「あるべき税務行政の実践に向けて」 講師 下館税務署長 吉野維一郎 氏 2. NHKアーカイブスの上映 「ある人生・風変わりの保証人」 税を考える週間 記念講演会 演題 「その時歴史が動いた、の現場から」 講師 NHKエグゼクティブアナウンサー 松平定知氏 視察研修(愛知万博)	講演会 演題 「最新の税金対策 ～相続税・消費税を含めて～」 講師 公認会計士 斉藤 暁氏 合同セミナー講演会
2006 平成18年	千代川地区会の下妻地区会への所属変更 総会記念講演会 演題 「わが国の財政・税制の現状と今後の行方」 講師 早稲田大学教授 品川芳宣 氏 経営者研修会 テーマ 「変わる役員給与の損金算入制度」 海外視察研修(上海)	講演会 演題 「リスクマネジメント」 講師 税理士・社会保険労務士 武井宏樹氏 合同セミナー講演会 講師 税理士会下館支部 税理士先生
2007 平成19年	総会記念講演会 演題 「医者しか知らない危険な話」 講師 山野美容芸術短期大学教授 中原英臣氏 税を考える週間 記念講演会 演題 「競争社会の楽しみ方」 講師 ノフィクション作家 吉永みち子氏 経営者研修会 テーマ 「事業承継と相続・贈与の税金」 講師 税理士会下館支部 税理士先生 視察研修(タイ・バンコク)	講演会 演題 「税制改正と会社」 講師 税理士 檜佐 光信氏 合同セミナー講演会
2008 平成20年	総会記念講演会 演題 「グローバル化の中の日本経済」 講師 日本経済新聞社論説副委員長 滝田洋一氏 法人会活動研究セミナー(組織活動について) 視察研修(ベトナム・ホーチミン) 経営研修会 テーマ 「どうする事業承継！社株80%の 相続税の納税猶予とその条件」 国税局長講演会 演題 「抜本的な税制改革について」 講師 関東信越国税局長 杉江 潤氏	講演会 演題 「国税の組織パートII」 講師 下館税務署 法人課税第一部門統括官 松浦司郎氏

世界と日本の出来事	主な税制等の変遷	会長、事務局長
ペイオフ全面解禁 個人情報保護法施行 マル優廃止 JR宝塚線脱線事故 つくばエクスプレス開業 平成の大合併50市町誕生 耐震強度偽装問題	高齢者控除の廃止 青色申告特別控除額を65万円に改定	会長 関 正夫 青連協会長 大島 博 事務局長 小池 文雄
預金保護法施行 日本郵政株式会社発足 改正教育基本法成立 出生率過去最低 1.28	所得税等の公示制度の廃止	会長 関 正夫 青連協会長 大島 博 事務局長 小池 文雄
国民投票法、改正少年法成立 みどりの日(5/4)、昭和の日(4/29) 郵政民営化 iPS細胞作製に成功 東京ミッドタウン開業	所得税確定申告期におけるe-Tax24時間受付	会長 中山 徹雄 青連協会長 渡辺 利夫 事務局長 小池 文雄
北京五輪開催 後期高齢者医療制度スタート リーマンブラザース破たん(リーマン・ショック) ブラジル移民100周年	電子証明書等特別控除等のe-Tax利用奨励	会長 中山 徹雄 青連協会長 渡辺 利夫 事務局長 小池 文雄



西暦・元号	主な事業・記録	
	本会	青年部連絡協議会
2009 平成21年	<p>総会記念講演会 演題 「時代を超えて生き残るビジネス」 講師 流通ジャーナリスト 金子哲雄氏</p> <p>経営研修会 テーマ「中小企業の生き残り経営塾」 経営研修会 テーマ「会社を守る方策アラカルト」 税を考える週間 演題 「どうする？税金のむだ遣い」 講師 NHK解説委員 後藤千恵氏</p> <p>視察研修(シンガポール)</p>	<p>講演会 演題 「裁判員制度について」 講師 水戸地方検察庁 検事正 佐々木善三氏</p>
2010 平成22年	<p>総会記念講演会 演題 「どうなる日本！日本経済と地域経済の明日を読む」 講師 経済ジャーナリスト 須田慎一郎氏</p> <p>経営研修会 テーマ「Twitter(ツイッター)で売り上げUPを目指す！マーケティングセミナー」 経営研修会 テーマ「会社を守る方策アラカルト」 水海道・石下地区会が合併 常総地区会と名称変更</p>	<p>講演会 演題 「若き経営者に期待」 講師 中山(憐) 代表取締役 中山徹雄氏</p>
2011 平成23年	<p>真壁・大和・桜川地区会が合併 桜川地区会に名称変更 総会記念講演会 演題 「ドロッカーに学ぶこれからの経営」 講師 セントラル総合研究所 長野修三氏</p> <p>経営研修会 テーマ 「雇用形態と労務管理」 講師 社会保険労務士 武井宏樹氏</p> <p>経営研修会 テーマ 「税務調査の直前対策」 講師 本会事務局長 小池文雄</p> <p>税を考える週間 演題 「日本の政治経済はどうなる」 講師 屋山 太郎氏</p>	<p>総会記念講演会 演題 「防犯対策と鍵」 講師 (有)自動扉の常陽 塚本功三 氏</p> <p>合同セミナー講演会 演題 「不透明な時代における経営者のあり方」 講師 ヤマダイ(憐) 大久保慶一氏</p>
2012 平成24年	<p>総会記念講演会 演題 「日本の底時からと韓国経済の行方」 講師 ジャーナリスト 辺 真一氏</p> <p>経営研修会 テーマ「心身ともに健康で生活したい」 講師 (医)威恵会 三岳荘 小松崎病院 理事長 小松崎 聡先生</p> <p>経営研修会 テーマ「企業対象等暴力について」 講師 下妻警察署 針替和夫氏</p> <p>海外視察研修(ベトナム・ハノイ)</p>	<p>講演会 演題 「国税通則法改正と税務調査」 講師 本会事務局長 小池文雄 氏</p> <p>合同セミナー講演会 演題 「会社にお金を残す3つの方法」 講師 市川 賢 氏</p>

世界と日本の出来事	主な税制等の変遷	会 長、事務局長
<p>オバマ大統領誕生 裁判員制度スタート 米GM経営破たん、国有化へ 民主党政権誕生</p>	<p>ダイレクト納付取扱開始</p>	<p>会 長 中山 徹雄 青連協会長 飯島 正彦 事務局長 小池 文雄</p>
<p>チリ大地震、大津波警報 アップル「ipad」発売 高速道路無料化社会実験 羽田空港、32年ぶりの国際線再開</p>	<p>摘要額明細書の提出制度の創設</p>	<p>会 長 中山 徹雄 青連協会長 飯島 正彦 事務局長 小池 文雄</p>
<p>東京スカイツリー完成 東日本大震災(M9)発生、大津波被害 福島第一原発事故発生 電力使用制限令、37年ぶりに発動 なでしこJAPAN、サッカー世界一、国民栄誉賞 日本、TPP交渉参加表明</p>	<p>震災特例法施行</p>	<p>会 長 中山 徹雄 青連協会長 安達 尚志 事務局長 小池 文雄</p>
<p>32年ぶり、「原子の火」が消える 新東名高速、御殿場～三ヶ日間開通 東京スカイツリー開業 ロンドン五輪 衆院選挙、自民圧勝、民主大敗</p>	<p>復興特別法人税導入</p>	<p>会 長 中山 徹雄 青連協会長 安達 尚志 事務局長 小池 文雄</p>

西暦・元号	主 な 事 業 ・ 記 録	
	本 会	青 年 部 連 絡 協 議 会
2013 平成25年	一般社団法人下館法人会として登記 総会記念講演会 演題 「日本経済の展望と政治のゆくえ」 講師 毎日新聞 論説委員 与良正男氏 経営研修会 テーマ「相続税と贈与税の心構え」 講師 税理士 白石俊治先生 経営研修会 テーマ「茨城県暴力排除条例について」 講師 下館警察署 荒井 隆氏 海外視察研修(マレーシア) 税を考える週間 演題 「マムシ流高齢化社会を考える」 講師 毒蝮三太夫氏	講演会 演題 「防犯と鍵(No.2)」 講師 (有)自動扉の常陽 塚本功三氏 合同セミナー講演会 演題 「東京スカイツリー 6・3・4に挑む」
2014 平成26年	総会記念講演会 演題 「悪徳商法にだまされないために」 講師 潜入ルポライター 多田文明氏	総会記念講演会 演題 「アジアビジネスチャンスをつかめ」(ベトナム編) 講師 (株)壺番亭本部 代表取締役 杉山 光氏 (株)ブレインワークス 取締役 大西信次氏



青年部総会(アジアビジネス講習会)
(2014)

世界と日本の出来事	主な税制等の変遷	会長、事務局長
東証と大証が経営統合 富士山、世界文化遺産登録 和食がユネスコ無形文化遺産に 特定秘密保護法成立	復興特別所得税導入	会長 加藤 昌美 青連協会長 金沢 智行 事務局長 小池 文雄
消費税8%実施 集团的自衛権行使容認、閣議決定 エボラ出血熱の感染拡大 御嶽山噴火、犠牲者多数	復興特別法人税の1年前倒し廃止 地方法人税の創設 消費税8%に引き上げ	会長 加藤 昌美 青連協会長 金沢 智行 事務局長 渡黒 一利



通常総会 (2014)

社団化・青連協 30周年 思い出アルバム



税を考える週間 (松平定知先生) (2006)



献血活動 (2006)



改正税法説明会 (2006)



総会 (2007)



総会 (2007)

社団化・青連協 30周年 思い出アルバム



青年部全国大会 (2007)



青年部総会 (2008)



各地区会合同会議 (2008)



国税局長 (2009-2-19)



紙芝居で税を… (2009)

社団化・青連協 30周年 思い出アルバム



改正税法説明会 (2010)



ゴルフ大会 (2010)



賀詞交歓会 (2010)



青年部 署長による研修会 (2011)



税を考える週間
(屋山氏講演会) (2011)

社団化・青連協 30周年 思い出アルバム



献血活動 (2011)



納税表彰式 (2012)



講演会(辺 真一先生) (2012)



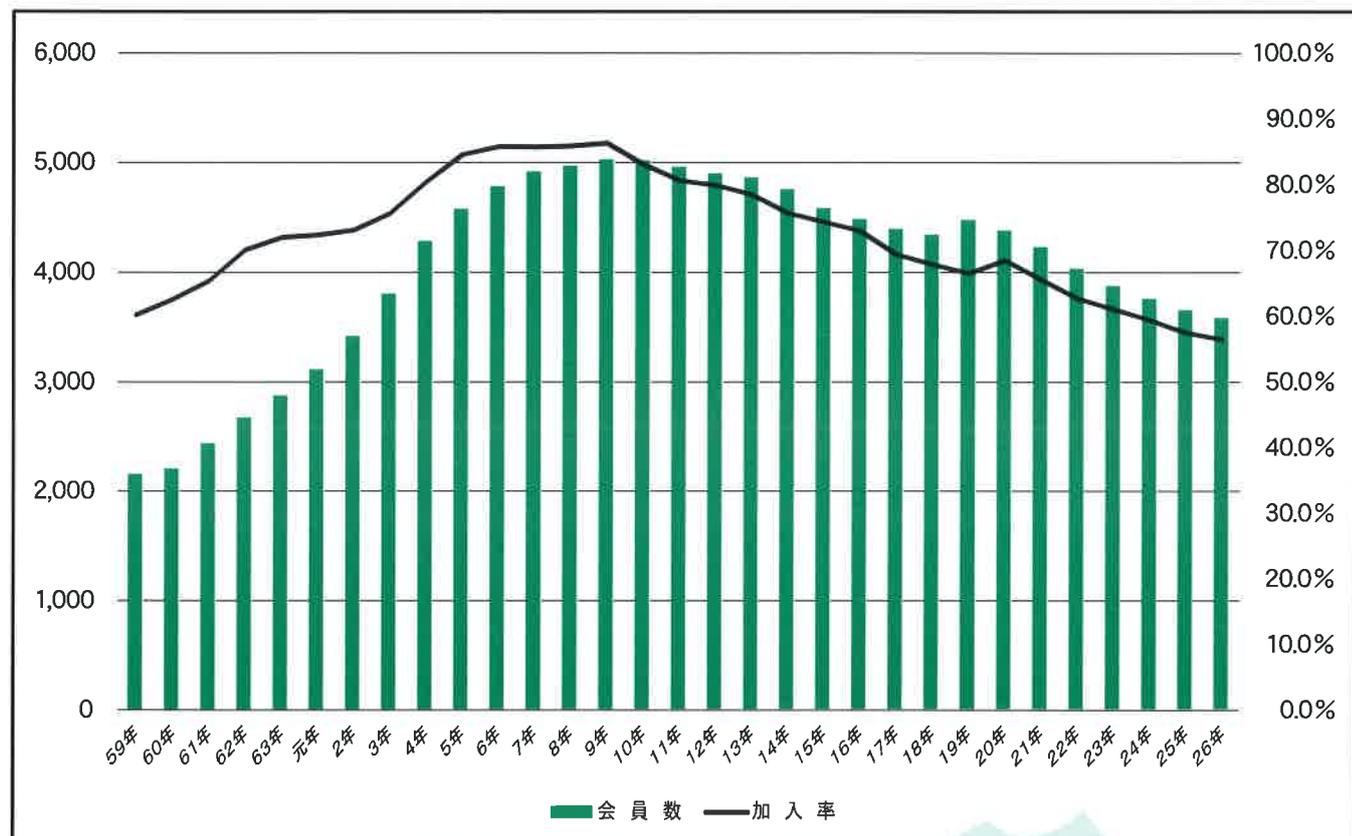
講演会(与良正男氏) (2013)



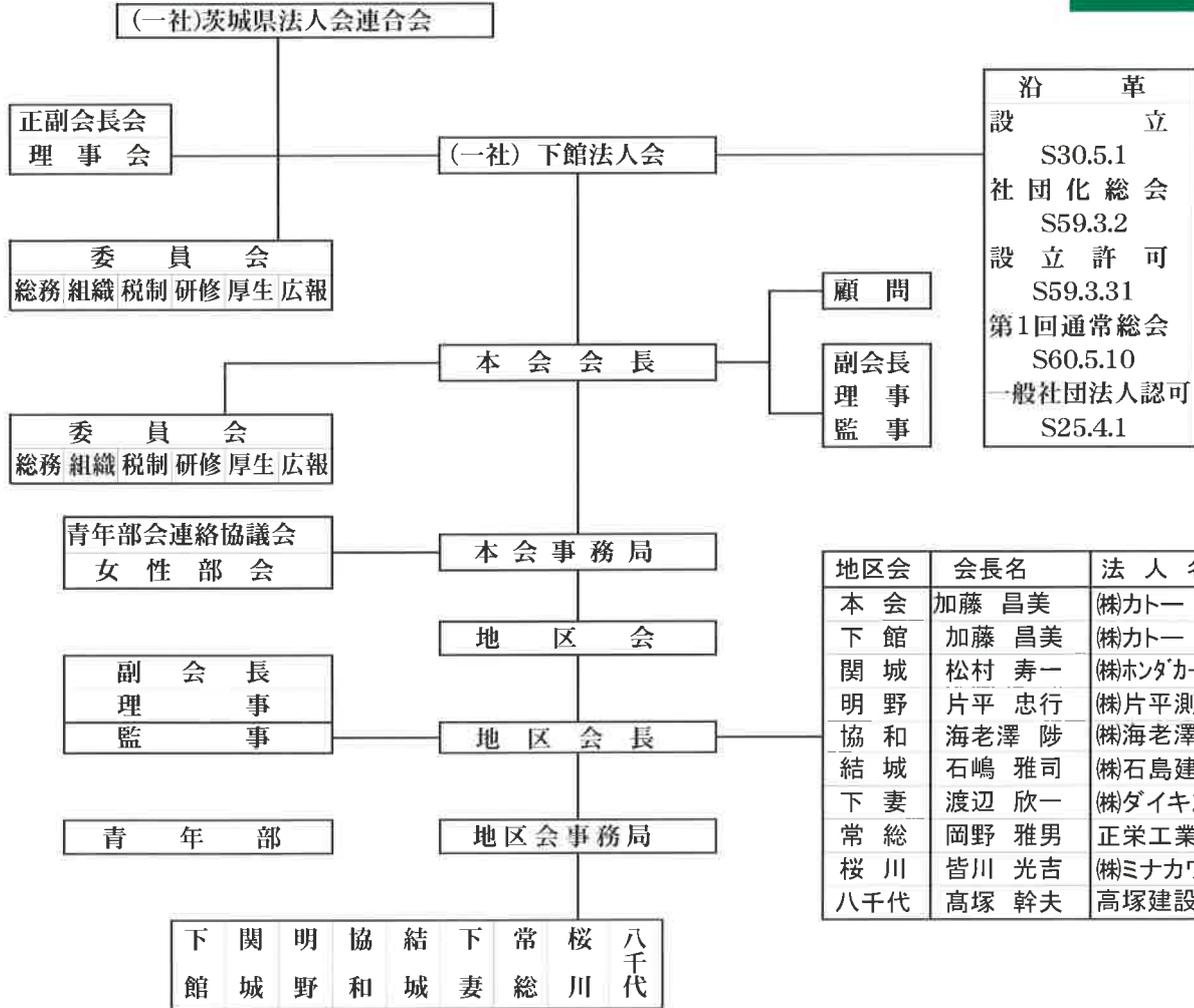
税を考える週間(毒マムシ三太夫先生) (2013)

会 員 加 入 状 況

	会 員 数	加 入 率		会 員 数	加 入 率
昭59	2,162	60.2%	平12	4,904	79.9%
昭60	2,214	62.6%	平13	4,863	78.5%
昭61	2,442	65.4%	平14	4,758	75.7%
昭62	2,676	70.1%	平15	4,583	74.3%
昭63	2,879	72.0%	平16	4,487	73.0%
元 年	3,116	72.3%	平17	4,397	69.4%
平 2	3,421	73.1%	平18	4,344	67.9%
平 3	3,805	75.6%	平19	4,478	66.5%
平 4	4,290	80.4%	平20	4,384	68.5%
平 5	4,582	84.6%	平21	4,234	65.6%
平 6	4,786	85.8%	平22	4,034	62.7%
平 7	4,920	85.7%	平23	3,876	61.1%
平 8	4,973	85.9%	平24	3,758	59.4%
平 9	5,032	86.3%	平25	3,655	57.5%
平10	5,022	83.1%	平26	3,585	56.5%
平11	4,963	80.6%			



組 織 図



地区会	会長名	法人名
本会	加藤 昌美	(株)カト一
下館	加藤 昌美	(株)カト一
関城	松村 寿一	(株)ホンダカース'筑西
明野	片平 忠行	(株)片平測量設計
協和	海老澤 陟	(株)海老澤製作所
結城	石嶋 雅司	(株)石島建設
下妻	渡辺 欣一	(株)ダイキン
常総	岡野 雅男	正栄工業(株)
桜川	皆川 光吉	(株)ミナカワ
八千代	高塚 幹夫	高塚建設工業(株)

一般社団法人下館法人会 地区会事務局

事務局名	会長名	所在地	電話	地区会 担当者名	青年部会 担当者名
本会	加藤 昌美	308-0041 筑西市乙922 (第5光伸ビル1F)	[0296] 22-2806	渡黒 一利	渡黒 一利
下館	加藤 昌美	308-0031 筑西市丙360 スピカ6F 下館商工会議所内	[0296] 22-4596	草間 崇	杉山 忍
関城	松村 寿一	308-0111 筑西市舟生1023 筑西市商工会関城事務所内	[0296] 37-6621	枝 忠男	
明野	片平 忠行	300-4517 筑西市海老ヶ島1292-1 筑西市商工会明野事務所内	[0296] 52-2511	稲葉 誠一	
協和	海老澤 陟	309-1107 筑西市門井1942-4 筑西市商工会内	[0296] 57-2124	吹野 建夫	
結城	石嶋 雅司	307-0001 結城市結城531 結城商工会議所内	[0296] 33-3118	三木 貴之	
下妻	渡辺 欣一	304-0056 下妻市長塚74-1 下妻市商工会内	[0296] 43-3412	植木 雅之	市村 暁
常総	岡野 雅男	303-0003 常総市水海道橋本町3552-1 常総市商工会水海道事務所内	[0297] 22-2121	澤辺 悦雄	吉田 瑞穂
桜川	皆川 光吉	309-1214 桜川市東桜1-21-1 桜川市商工会内	[0296] 76-1800	中野 将一	中野 将一
八千代	高塚 幹夫	300-3572 結城郡八千代町菅谷1177-27 八千代町商工会内	[0296] 49-3232	長 紀行	長 紀行

役員一覽

本会役員 (◎ 会長、○ 副会長)

地区会	役職	氏名	法人名
下館	理事	◎加藤 昌美	(株)カトー
	"	鈴木 勝家	(株)スズキ電化ストア
	"	小葉 拓巳	(株)小葉建設
	"	廣瀬 彰	関彰商事(株)
	"	永盛 武	(株)アバンシステムコンサルタント
	"	広瀬 陽一	(株)セナミ学院
	"	岩崎 晴男	東洋補償鑑定(株)
	"	中野 克哉	ダテックス(株)
	"	大島 清司	(株)大島輪業
	"	木城 弘明	(株)木城製作所
	"	加藤木 勇	下館陸運(株)
	監事	前島 賢彰	(株)常陽銀行下館支店
関城	理事	○松村 寿一	(株)ホンダカーズ筑西
	"	森 寛昭	(有)トリ環境エンジニアリング
	"	津田 明	東日本税理士法人
明野	理事	○片平 忠行	(株)片平測量設計
	"	水柿 重徳	明野観光開発(株)
協和	理事	○海老澤 陟	(株)海老澤製作所
	"	今井 勝美	(有)今井建築
結城	理事	○石嶋 雅司	(株)石嶋建設
	"	奥澤 武治	奥順(株)
	"	鬼沢 長幸	(株)常陽銀行結城支店
	"	岩月 正勝	岩月内装(株)
	"	小西 泰雄	小西(株)
	"	岩崎 広行	(株)岩崎社会保険事務所
	監事	佐々木政彦	結城信用金庫本店営業部
下妻	理事	○渡辺 欣一	(株)ダイキン
	"	大塚 基治	大塚セラミックス(株)
	"	柴 芳男	(株)柴木材店
	"	石塚 貴司	石塚産業(株)
	"	柴 孝光	旭建設工業(株)
	"	須藤 豊次	ライナー建設(株)
常総	理事	○岡野 雅男	正栄工業(株)
	"	染谷 正昭	(株)染谷工務店
	"	高須 薫	(株)常陽銀行水海道支店
	"	武藤 康之	(株)釜久本店

地区会	役職	氏名	法人名
常総	理事	菊池 茂	(株)菊池土建
	"	大坂 勇	大坂建鋼(株)
	"	岩見 昌光	岩見印刷(株)
	"	草間 進	(株)草間自動車
	監事	木幡 浩	(株)筑波銀行水海道支店
桜川	理事	○皆川 光吉	(株)ミナカワ
	"	村上 一男	(社福)緑風会
	"	川那子克己	丸川木材(株)
	"	恩田 実	(株)トップ岩瀬工場
	"	宮川 国平	宮川建材(株)
	"	添野 俊男	(株)ティック
	"	飯島 正彦	山六工業(株)
	"	秋山 昇	柳田工業(株)
八千代	理事	○高塚 幹夫	高塚建設工業(株)
	"	西山 勉	西山運輸機工(株)
	"	山口 茂	(有)山口容器
	"	高木 敏	(株)高商

青年部会連絡協議会役員

会員数 184名 (26. 3. 31)

地区会	役職	氏名	法人名
	会長	金澤 智行	(株)大商
下館	副会長	濱野 浩二	(株)アドバンスシステム
	理事	杉山 充正	(株)杉山製作所
	"	高橋 良明	(有)高橋忠三郎商店
	"	加藤 孝雄	(株)カトー
	"	檜山 泰一	(株)新東
	"	石井 健一	石井塗料(株)
下妻	副会長	初沢 真一	初沢建設(株)
	理事	石井 良徳	つくばクリーン産業(株)
	"	小沼 信義	小沼鐵工(株)
	"	人見 久郎	(株)ヒトミ

地区会	役職	氏名	法人名	地区会	役職	氏名	法人名
常 総	副会長	大塚 裕一	一言主神社	結 城	副会長	浜野 秀子	(有)浜野建設
	理 事	古矢 満	(株)フルヤ建商		理 事	小西あい子	小西(株)
	”	草間 進	(株)草間自動車	”	中山 紘子	中山(株)	
	”	生井 一彰	(株)生井	下 妻	副会長	山野紀美世	(有)山野新聞店
	”	松村 仁志	(有)三妻タクシー		理 事	山崎 久子	(株)山崎商店
	”	野村 英樹	(有)野村屋旅館		”	内山 光江	(株)内山建設
	”	小島 一敏	(有)小島サット-ヨー住器	”	山口きよ子	山口家具(株)	
”	草間 充春	クサマ産業(株)	常 総	副会長	黒鳥久美子	(有)黒鳥	
”	安達 尚志	(有)やまと		理 事	加藤真砂子	(有)筑波ヘルスケア-	
桜 川	副会長	安達 尚志	(有)やまと	桜 川	副会長	市村百合子	大洋建設(有)
	理 事	木口 光弘	(株)木口		理 事	坂井 敦子	中川石材工業(株)
	”	飯島 宗一	(有)飯島製作所	”	宮川 恵子	宮川建材(株)	
	”	平井 直人	(株)平井商店	八千代	副会長	秋葉はるい	(株)賀登屋
	”	小森 丈治	(有)こもり		理 事	倉持 光子	(株)くらもち
”	重村 秀一	(有)重村自動車	”		関永 千晴	(株)せきなが	
八千代	副会長	大山 晃	(株)大山硝子店				
	理 事	吉溪 哲也	(株)よしたに商店				
	”	秋葉 健治	(株)賀登屋				
	”	武井 則幸	(有)武井建設				
	”	生井 道明	(株)エム・アール				
	”	小野里 敏	(株)川村美装				

女性部会役員

会員数 121 名 (26. 3. 31)

下 館	部会長	広瀬美佐子	(株)セナミ学院	
	副会長	菊池 澄子	大同生命保険(株)	
	”	檜山 悦子	(株)新東	
	”	中原 順子	(株)蓮華	
	理 事	佐藤 征子	(株)佐藤製作所	
	”	武井 郁代	武井税理士事務所	
	”	水柿 幸子	(株)水柿電機	
	”	瀬畑 令子	(有)セバタメガネ	
明 野	副会長	山口千江子	山口造園(株)	
	協 和	副会長	谷島 洋子	(有)谷島自動車
		理 事	橋本 キミ	(有)橋本縫製

茨城県法人会

法人会名	所在地	会 長 専務理事 事務局長	会社名	電話番号 FAX 番号 e-mail
(一社) 茨城県法人会連合会	〒310-0801	鬼澤 邦夫	(株)常陽銀行	029 (227) 1319
	水戸市桜川 1-1-25	秦 雅博		029 (231) 8144
	大同生命ビル 8F	佐藤 幸		ibaho@cc.mbn.or.jp
(公社) 水戸法人会	同 上	同		029 (227) 1302
		同		029 (225) 3336
		同		mitoho@s3.dion.ne.jp
(公社) 日立法人会	〒317-0073	宮本 洋治	(株)宮本製作所	0294 (24) 2211
	日立市幸町 1-21-2	田尻 修		0294 (22) 0130
	日立商工会議所会館 1F			mail@hitachi-hojinkai.com
(公社) 土浦法人会	〒300-0051	宇田川仁一郎	(株)宇田川コーポレーション	029 (822) 5657
	土浦市真鍋 1-16-11			029 (823) 9637
	延増第3ビル 1F	遠藤 信一		info@tsu-houjinkai.or.jp
(一社) 太田法人会	〒313-0061	伊村 智安	(株)茨城シーアイシー研究所	0294 (73) 0267
	常陸太田市中城町 3210	大津 賢二		0294 (73) 0679
				ohta-hojinkai@par.odn.ne.jp
(公社) 古河法人会	〒306-0041	弓削 重次	(株)弓削洋品店	0280 (48) 6123
	古河市鴻巣 1189-4			0280 (48) 6080
	古河商工会議所内	鈴木 久雄		shakoga@koganet.ne.jp
(一社) 竜ヶ崎法人会	〒301-0012	細谷 典幸	(株)タケホ	0297 (64) 3646
	龍ヶ崎市上町 4839-1	池野辺 修		0297 (64) 3683
				ryuhou001@ybb.ne.jp
(一社) 鹿行法人会	〒314-0034	石津 健光	常総開発工業(株)	0299 (82) 8386
	鹿嶋市鉢形 1527-4	田谷 克巳		0299 (82) 2461
	鹿嶋市交流会館 3F			rokkou@par.odn.ne.jp
(一社) 下館法人会	〒308-0041	加藤 昌美	(株)カトー	0296 (22) 2806
	筑西市乙 922			0296 (22) 5410
	第5光伸ビル 1階	渡黒 一利		shimohou@aurora.ocn.ne.jp

下館法人会社団化・青連協 30周年記念誌

発 行 一般社団法人 下館法人会
 発 行 日 平成26年11月7日
 法人会会長 加藤 昌美 青連協会長 金沢 智行
 事務局長 渡黒 一利
 印 刷 (株)広瀬印刷